



大河原町 議会だより

第128号 平成25年8月1日

新しい議会構成	② ③
町政への提言	④
議決責任の明確化	⑮
政務調査費収支報告	⑮
委員会視察研修報告	⑮
その後どうなった	⑮

夕涼み会
(金ヶ瀬カトリック保育園)

新しい 議会構成

議長に秋山 昇氏を選出 副議長には山崎 剛氏



秋山 昇 議長



山崎 剛 副議長

就任挨拶

この度、議員各位のご推挙により、議長の要職に就くことになりました。身に余る光栄と感激いたしますとともに、責任の重さを痛感しているところでございます。今日までの議員経験を活かし、公正かつ円滑な議会運営に全力で取り組んでまいります。

議会は常に町民目線に立つて、執行機関を監視する立場にあります。町民の皆様への信託に応え、信頼される議会運営を第一に、大河原町の更なる振興発展のために働きます。今後とも、皆様方のお力添えを頂きますと共に、ご協力をお願いします。

この度、5月の初議会において、副議長という大役の選任を受けました。身に余る光栄であるとともに責任の重大さを身にしみております。まだ議員経験も浅く、もとより浅学非才でその器ではありませんが、先輩、同僚議員のご指導を賜り議長の補佐役として活ある議会運営と町政に安心感としてスピード感をめざして誠心誠意、町民の皆様への信託に応えるべくまい進してまいります。今後とも町民皆様方の一層のご指導ご鞭撻を心からお願ひ申し上げます。

この度、5月の初議会において、副議長という大役の選任を受けました。身に余る光栄であるとともに責任の重大さを身にしみております。まだ議員経験も浅く、もとより浅学非才でその器ではありませんが、先輩、同僚議員のご指導を賜り議長の補佐役として活ある議会運営と町政に安心感としてスピード感をめざして誠心誠意、町民の皆様への信託に応えるべくまい進してまいります。今後とも町民皆様方の一層のご指導ご鞭撻を心からお願ひ申し上げます。

一部事務組合等選出議員

議会運営委員会

議会の適性かつ円滑な運営を図るため設けられています。

委員長	佐藤 貴久
副委員長	枘 和也
委員	安藤 征夫
委員	丸山 勝利
委員	岡崎 隆
委員	高橋 芳男

議会広報編集特別委員会

議会の審議や活動状況を広くお知らせするため、議会だよりを編集・発行します。

委員長	岡崎 隆
副委員長	佐久間 克明
委員	万波 孝子
委員	高橋 芳男
委員	大沼 忠弘
委員	須藤 慎

監査委員

町の収入、支出が適正に処理され、公正で効率的な運営が確保されているか見定めます。

安藤 征夫

(賛成多数で同意)

仙南地域広域行政事務組合議会議員

仙南地域広域行政事務組合の条例や予算等に関する議案を審議します。

秋山 昇 (議長)
佐藤 貴久 (選挙で選出)

みやぎ県南中核病院企業団議会議員

みやぎ県南中核病院の管理・運営、病院建設整備に関する議案を審議します。

秋山 昇 (議長)
丸山 勝利 (選挙で選出)
庄司 充 (選挙で選出)

宮城県後期高齢者医療広域連合議会議員

宮城県後期高齢者医療広域連合の条例や予算等に関する議案を審議します。

佐藤 巖 (選挙で選出)

産業建設

常任委員会

【所管事務事項】

町の事務で道路・側溝、上水道等の土木事業に関する工事・事務、産業振興及び農業委員会に関することについて、問題・課題に対して意見、解決方法を提言していきます。



高橋 芳男 議員(委員長)

走ります！一人のために
大河原町
みんなのために！



大沼 忠弘 議員(副委員長)

町民幸福度の向上を最優先に
取り組んでまいります。



岡崎 隆 議員

4年間町民のために責任ある
議員としての行動を貫きます。



枡 和也 議員

つくります。ひと・まち(大河
原)・みらい町民のために。



佐藤 貴久 議員

自然体で、地域づくり、町づ
くりにも力を尽くしていきます。



庄司 充 議員

新しい世代を迎えた町議会。
新しい仲間と町民の為の町政を。



山崎 剛 議員

温かくて元気の似合うこの町
だから、パワー全開で取り組
みます。

総務文教

常任委員会

【所管事務事項】

町の事務で、総務、税務、福祉、保育所及び学校等の教育部門、選挙管理委員会、監査委員に該当する問題・課題に対して意見、解決方法を提言していきます。



丸山 勝利 議員(委員長)

「有言実行」発言に責任を持っ
て、大河原町のために、町民
のために活動します。



佐久間克明 議員(副委員長)

町と地域の架け橋になります。
30年後の大河原町に責任を持
てるよう走り続けます。



須藤 慎 議員

町民お一人おひとりの福祉向
上のため地域のため、大河原
町発展のため汗を流してまい
ります。



堀江 一男 議員

「是々非々」の精神を忘れずに、
町民の為に頑張ります。



万波 孝子 議員

町の主役は町民一人ひとり。
みんなの願いを町政に届けます。



佐藤 巖 議員

ぶれない信念のもと、時代に
あった町づくりに取り組みま
す。感動を町民に。



安藤 征夫 議員

マイペース。一つひとつしっ
かり取り組んで行く。

一般質問

町政への提言Q & A

一般質問とは、町長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどをただすもの。今回10人の議員が行った。

堀江一男 議員 P⑤

- 第5次長期総合計画における実施計画を問う

須藤 慎 議員 P⑥

- 投票所の増設等による投票率の向上策を
- 小学校へ金管楽器導入を
- 大河原中学校グラウンド一部フェンスの改修で安全確保を

庄司 充 議員 P⑦

- 安心安全な町づくりは道路から

枡 和也 議員 P⑧

- 第3子以降出生時祝い金制度の導入を

大沼忠弘 議員 P⑨

- 町長の施政方針を問う

山崎 剛 議員 P⑩

- 通学路の安全対策は万全か

岡崎 隆 議員 P⑪

- 次年度に向けた桜まつりの改善点は
- 風疹の予防接種に町独自の支援を(掲載外)
- 旧鷺沼荘敷地内の残土処理の今後(掲載外)

万波孝子 議員 P⑫

- 町職員に障がい者をもっと積極的に採用して
- 所得に関係なくどの子も医療費助成の対象に
- 内部被ばく検査を経済的理由により差別することは問題
- 「一目千本桜」桜まつり(掲載外)

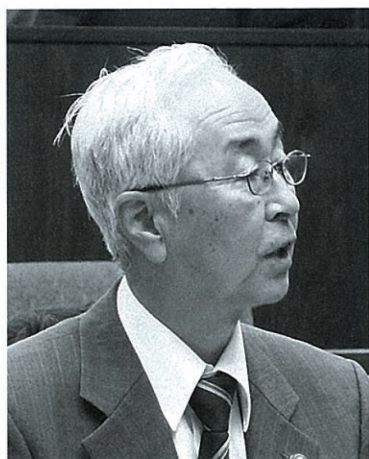
丸山勝利 議員 P⑬

- 原発事故による放射能対策と対応は

佐久間克明 議員 P⑭

- 大河原町の食育に関して





ほり え かず お
堀江一男 議員



一般質問

問 地区交流施設の整備を急げ

答 西原地区は用地取得に向け準備に着手

堀江（仮称）西地区交流センター整備事業についての経過と今後の計画について尋ねる。

町長 24年度に整備用地を土地開発基金で取得し、用地の測量を行った。本年度は用地取得の買戻し、施設整備に係る建築設計及び造成設計・造成工事を行う予算を計上した。交流センターの建築工事は26年度を予定している。

堀江 昨年6月議会において、西原集会所の老朽化問題をとり上げたが、今後の後期計画に是非取り入れて頂きたい。

町長 本年度に用地取得に係る鑑定委託料を予算化している。後期計画の中で西原集会所整備について対応していく。

堀江 放射能対策事業については、26年度以降はゼロ予算となっているが、今後放射能対策は行わないという事なのか。

町長 26年以降はどういった状況になるかつかめきれなかったことからゼロ予算としたが、当然ながら必要な事業は継続していく。

堀江 消防施設維持管理事業について、24年の実施計画では、3力年にわたって

予算が計上されていたが25年には、この事業が無くなっているが維持管理は必要なのか。

町長 誤って、車両整備に計上したためゼロ予算となった。今後注意する。

堀江 おしらせばん発行事業も、27年度ゼロ予算となっているが、発行しないということなのか。

町長 これについても計画額の記載漏れによる誤りです。



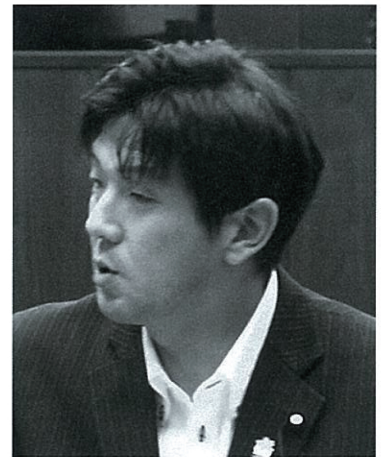
▲手狭な西原集会所

老朽化した
集会所の改築を

ちょっと
ひとこと

問 投票率向上の改善策を

答 投票区全体の見直しを検討



す どう しん 議員
須藤 慎

4月14日の大河原町議会議員選挙の投票率は59・3%と極めて低い結果となった。候補者の一層の努力も必要であるが、投票所の見



▲役場期日前投票所

一般質問

直しや新設、啓発活動等、投票率向上策について問う。

須藤 投票所の再検討が必要であると考えられているが、特に桜町地区への投票所は是非検討すべきと考えられているか。

選管委員長 今後(仮称)世代交流プラザの完成も踏まえ、桜町も含め改めて投票区全体の再編を検討する。

須藤 若い世代への投票率向上策としてアンケート等で啓発を図っているかが。

選管委員長 大河原町明るい選挙推進協議会と協議し検討していく。

須藤 開票速報は随時町ホームページに掲載すべきと考えられているか。

選管委員長 次の町の選挙(町長選挙)から掲載できるように検討する。

小学校へ金管楽器導入を

須藤 大河原小学校の鼓笛隊や演奏に何種類かの金管楽器を導入してはどうか。

教育長 教科指導の内容が増加しており、鼓笛練習の時間確保も難しく、新しく金管楽器を導入することは大変厳しい状況にある。

大河原中学校グラウンド一部フェンスの改修で安全確保を

須藤 ソフトボール大会や練習試合等ではファールボールが何度もフェンスを超え、車両の損傷や人身への危害が大変懸念される。生徒が安心して部活動に専念できる環境整備と社会体育で利用する際の事故防止、安全確保の観点からも早急に改修が必要であるがどうか。

教育長 ボールがフェンスを越えない為の措置を検討していく。もうしばらく時間をいただきたい。

若者の選挙ばなれは深刻な問題です

ちょっとひとこと



しょう じ 庄司
みちる 充 議員



一般質問

問 県道白石柴田線の 早期改良を

答 宮城県に改善の要望を継続中

庄司 車輛の交通が年々増加している中で県道白石柴田線（上大谷道路）は道路の幅員が極めて狭く行きかう車や自転車は難儀しており通学の児童は常に危険にさらされている。又、側を流れる用水路はコンクリートでつくられており、歩行者が誤って転落したら生死にかかわる事故に繋がる。危険防止対策はどう考えるか。これらの通学路の危険箇所は嚴重な注意と対策が必要であるが特に冬季の雪道は児童にとって大なる恐怖である。通学対策の最良の考えはあるか。かつて私はこの問題を重くとらえ10年来一般質問で再三取りあ

げてきた。前町長・元町長二代にわたって検討してきたが一向に進展しなかった。このことを町長は本気で取り組む考えはあるか。



▲通行に難儀する上大谷地区

る。JR毛萱街道踏切から約250mの区間を地域協働事業により片側歩道の設置をした。用水路の危険防止策として道路側に土木事

町長 県道白石柴田線は道路幅員が狭く危険が多いことは十分認識していることから道路管理者である宮城県大河原土木事務所に対し早期の全線改良の要望を行っていただく。業務所がガードレールを設置、民地側には柴田町土地改良区がネットフェンスを設置した。通学路の学校の指導対策としては、新学期前や遠足・校外学習の前・冬季の積雪時などに職員で安全点検を行い、PTA地区会にお願ひし危険箇所を報告してもらおう。県道白石柴田線の拡幅への取組みは県の「社会資本再生復興計画」等に基づき近隣関係市町との広域連携を強化し、より一層の県への働きかけを行ってゆく。

二代に亘る町長への提言は
三代目で実現を
ちよっと
ひとこと

問 第3子以降の出生時 祝い金制度の導入を

答 当面は児童・教育施設の
準備に集中



ます かしわ 和也 議員

一般質問

当町の15歳未満の人口は、平成2年4321人、平成23年では3390人と約20年間で約1000人減少、全人口に占める割合は、20・5%から14・3%まで下がり少子化が止まらない状態である。少子化・人口減少社会を少しでも改善する政策に取り組むべきである。以下考えを問う。

柘 平成20年から平成24年までの5年間の出生数の内訳はどうなっているか。

町長 20年合計で214人、第3子以降が38人・順次21年250人・41人、22年183人・34人、23年178

人・32人、24年212人・33人となっている。

柘 出生率の向上、定住人口の維持・増加、子育て世代への経済支援の一助また地域の活性化を目的として第3子以降出生時に（仮称）元気な大河原つ子出生祝い金制度を創設する考えはないか。

町長 出生率の向上は、社会環境が大きく影響し一時的な経済支援では効果が出にくい、児童福祉・教育施設の整備に集中することが



▲もぐもぐ教室（5ヶ月児健康相談）

肝要であるので理解願いたい。

柘 白石市・角田市・蔵王町・村田町・七ヶ宿町等近隣市町でもそれぞれ独自に、祝い金制度を実施している、当町の第3子以降の出生数を見ても年30〜40人程度で例えば1人に10万円支給しても年間経費が400万円

位だが前向きに検討できないか。

町長 近隣市町の例を参考にしながら、貴重な提言と受け止め今後十分に検討をしていきたい。

みんなで共に考えよう
少子化問題
がんばれ子育て世代

ちょっと
ひとこと



おお ぬま ただ ひろ
大沼忠弘 議員

問 総合型地域スポーツクラブの 創設を

答 関係団体等と協議を重ね検討

町長就任後最初の施政方針が3月定例会で示された。本年度の施政方針としては



▲屋内スポーツの拠点「はねっこアリーナ」

勿論だが、町長の町政に臨む所信の一端であるとも理解していることから、より明確化して取り組むことが早期の実現化へ繋がるのは当然であるので質問する。

大沼 生涯学習と社会教育の振興では、総合型地域スポーツクラブが可能性を持った取組みとして考えられるが取り組む考えはあるか。

教育長 総合型地域スポーツクラブは、スポーツを楽

しみながら、心と体の健康維持増進や色々な人たちの交流の場としての地域コミュニティの役割なども考慮されるが、クラブ指導者等の人材の確保、運営、環境等の取り組みについて、関係団体等協議しながら検討していく。

大沼 障がい者福祉について、障がい者の方々や将来への不安を取り除く本質的な課題解決が不可欠であるがどうか。

町長 これまでも障がい者の方々様々なニーズに 대응することができるよう努めてきた。今後も生活や将来への不安を取り除く本質的な課題解決に取り組んでいく。

大沼 障がい者雇用の促進が不可欠であるが、具体的にどう取り組んでいくのか。

町長 社会的な自立をめざし、働く意欲のある障がい者に対して、各人に適した働き方のできる支援を行うため、仙南障害者就業生活支援センターと連携しながら、各関係団体とのネットワークの強化を図る。民間企業の職場適応訓練や適応援助者等の支援制度を活用していくよう、啓発広報活動に積極的に努めていく。

町民が生きがいを持って暮らせるまちを

ちょっとひとこと

問 通学路の安全対策は万全か

答 総合的な安全対策を検討



やまざき つよし
山崎 剛 議員

一般質問

山崎 街路灯や区画線、道路反射鏡、道路標識などの交通安全施設の設置及び改修等を適正に行っているか。

町長 交通安全施設については、通学路検討委員会、各種団体、行政区長、地区住民のご指摘を踏まえ現在交通安全施設の設置及び改修を実施している。

山崎 電力消費の省エネ対策の意味で街路照明灯のLED導入の切り替えを順次行っているのか。

町長 消費電力、施設の長寿命化による管理経費の削減を目的として交付金事業、

企業からの復興支援事業としてLED照明灯500基寄贈されており、順次LED灯への交換を進めている。

山崎 区画線やクロスマーク停止線の表示、特にスクールゾーン危険個所をカラー舗装の安全確保事故防止策を講じているか。

町長 区画線やクロスマーク停止線の表示及びカラー舗装については、検討委員会、警察署と協議し、現地確認のうえ設置を行っている。

山崎 交通安全に配慮した歩行者、自転車共存道路の整備、段差、勾配解消の取

り組み方について尋ねる。

町長 歩行者、自転車共存道路の整備については、自転車帯の整備を、また段差、勾配解消については、交通量の多い幹線を中心に解消に努めている。

山崎 通行環境を推進することについて字町46番地1嶋伝輪業さんの土地を取得する考えはないか尋ねる。

町長 駅前大通り線拡幅事業として、歩道整備を行っており、今後、歩行者の安全対策を検討していきます。



▲本町中町交差点付近

安全・安心な、人に
やさしいまちづくり

ちょっと
ひとこと



おかざき たかし
岡崎 隆 議員

問 次年度に向けた 桜まつりの改善点は

答 役場も一丸となってサポートしていく

今年もわが町の観光の目玉である桜まつりが13日間にわたって開催され、26万人の観光客で賑わった。しかし多くの課題が見受けられ次年度に向けた取り組みが必要であると考えてるので以下尋ねる。

岡崎 4年に一度ではあるが開花が早い年は町議選とぶつかる。何とか日程を調整できないか。

町長 公選法上大きな日程変更は難しいが検討していく。

岡崎 見頃になると渋滞が激しさを増す。一番の課題であるこの解決方法は何か。



▲大勢の観光客で賑わう桜まつり

町長 料金収受到次年度からは人員を増やし工夫する。

町長 指摘のとおり早急に取り組む。

岡崎 商工会、実行委員会よりも積極的に大会会長である町長が人員の増員等改善の先駆的役割を役場が果たすよう指揮を執るべき。

町長 次年度からは役場職員が一丸となって桜まつりをサポートできるよう体制を整える取り組みを行っていく。

市販のナビは案内ルートが重複し村田インターまで込み合う、町独自に工夫した町内へのアクセスマップを作成し周知するべき。

町立病院跡地が使用できない。代替の駐車スペースの確保を急ぐべき。町有地のタクシープール、大河原橋の下部の駐車スペース等の



一般質問

今年こそ改善の
取り組みを

ちょっと
ひとこと

問 一人でも多くの 障がい者の雇用を

答 町職員にも積極的に採用していく



まん なみ たか こ 議員
万波孝子

政府は15年ぶりに、国や地方自治体、民間企業の法定雇用率を0・2%上昇させた。これを受け以下尋ねる。

万波 障がい者の雇用に対する町の基本的姿勢は。

町長 障がい者が自立した生活を営むことが出来るように雇用の確保に努めていく。

万波 町職員の障がい者雇用率は。今後の採用の見通しは。働きやすい環境整備はどのように進めるのか。

町長 4月1日現在1・9%。来年度は一名採用予定。今後は法定雇用率を上回る計画でいく。職場環境については、随時検討を加えな



一般質問

から進める。

万波 町内企業にも障がい者雇用率アップの働きかけを。

町長 対象企業は4社。積極的に働きかけをしていく。

内部被ばく検査を経済的理由により差別することは問題

万波 内部被ばく検査費用の半額を助成するので、町税等の滞納者は助成が受けられない場合があるという町の姿勢は問題であり改めるべき。被ばくを心配する町民は何の責任もない。そ

れなのに滞納を理由に差別することは、行政としてすべき行為ではないと思うが。

町長 議員の指摘を受け、改めることとした。

所得に関係なくどの子ども医療費助成の対象に

万波 子ども医療費助成は、小学6年生まで拡大したが所得制限で123世帯、2



▲子ども医療費助成

85人が対象外になっている。医療費助成の拡充は、活力ある豊かな社会を築く為の未来への投資と位置づけている。群馬県に学び所得制限の枠をなくす考えは。

町長 知っているが様々な制度が所得によって負担や助成の内容が変わっている、所得状況で制限されるのはやむ得ない。

万波 当面は所得限度額を引き上げて助成対象者の拡大を検討できないか。

町長 現状のままでいく。

弱者にこそ政治の灯を

ちょっとひとこと



まる やま かつ とし
丸山勝利 議員

問 内部被ばく検査費用の 全額助成を

答 現状のまま半額の負担を
町民に願います

東日本大震災から2年3カ月が過ぎ除染等が行われ、公表されている放射線量は下がったが、ホットスポットと呼ばれる線量の高い場所が存在し、落ち葉が集まる場所や側溝など雨水などが集まる場所は線量が高いようだ。放射線は目に見えないもの、また普段の生活において健康への影響も分かりづらいものである。農業分野においても風評被害等で農業振興が進みづらいように思われる。町民の健康と食の安全を守るためにも以下考えを問う。

丸山 ホールボディカウンター搭載車による内部被ばく検査が行われるが、検査費用が高いのではないかと。本来は東京電力が負担するべきものではないか。

町長 そのように認識しているが現実的に全額認められないと思われる。町民には負担をお願いするしかない。

丸山 風評被害について対策は万全か。町内産の農作物の検査体制は。

町長 損害賠償支援については先日、大河原合

同庁舎で損害請求の説明会も開催されている。町としても県や地域自治体とともに指導等を行っている。

丸山 農業振興として町内産の農作物販路拡大にさくらつきーとともに町長自らトップセールスをしてはどうか。

町長 大河原町のブランド力の向上に努めたい。

丸山 鷺沼入の町内側溝土砂等仮置場計画が中止になったが、今後の計画はどうか、また現在フレコン入りのシートで覆われているだけの残土はどうするのか。

町長 住民の理解が得られず中止になったが、協議検討が続いている。残土については仮置場が決まるまではそのままになる。



一般質問



▲ホールボディカウンターによる内部被ばく検査

早急な対策を

ちょっと
ひとこと

問 食育の具体的な取り組みは

答 栄養士等と連携を図って指導



さく ま かつ あき
佐久間克明 議員

本来家庭の食卓が食育の基本です。しかし、核家族化、夫婦共稼ぎの現代、食卓が一家団欒の場という考え方は無くなっています。今、誰が子どもに対して食の大切さを教え伝えることができるのかを考えた時、それは子どもたちに一番身近な学校給食があたるのではないかと考えます。

佐久間 教育現場における食育は具体的にどのようなことを行っているのか。

教育長 授業や給食時に、栄養教諭や栄養士と連携を図りながら、食品の働き、食事マナー、関わる人々に



一般質問



▲みんなが楽しみな給食

感謝の気持ちを持てるよう指導している。家庭等には、学校日より、給食日より、

保健日より等で食育の取組みについて周知を図っている。

佐久間 給食使用数量全体に対する地場野菜の使用割合はどのくらいか。

教育長 平成24年度購入実績で、生鮮野菜の全体量3万7085kgに対して、町内産が2278kg（6・14%）、近隣市町産を含む県内産が5858kg（15・8%）、県外産が2万8949kg（78・6%）となっている。

佐久間 カットされていない品物を見て、初めて見たと驚いている親子がいるのが現実です。

家庭での食育能力が低下する以上、何かしらのきっかけづくりが必要です。子

どもが変わることで同居する大人にも影響を与えることができるのではないかと考えるがどうか。

教育長 実生活での体験を通して得られにくくなっている状況は由々しき問題と感じている。学校では、生括や総合的学習を通して、見る触る味わうといった五感を使った体験的学習を取り入れている。野菜を育てる、茶道やそば打ちの体験、料理教室、合宿通学等の様々な食育推進活動を通し、家庭の中で豊かな食について認識を広げることができることを期待している。

次代につながる豊かさを考える時なのは

ちょっとひとこと

《平成25年第2回臨時会(5月)及び第3回定例会(6月)議案等審議結果》

議決責任の明確化

件名	議決月日	議決結果	議 員 別 表 決 結 果 一 覧														
			佐久間克明	須藤 慎	大沼 忠弘	高橋 芳男	岡崎 隆	丸山 勝利	堀江 一男	枅 和也	佐藤 貴久	庄司 充	万波 孝子	佐藤 巖	安藤 征夫	山崎 剛	秋山 昇
監査委員の選任	5/1	否決	投	投	投	投	投	投	退	投	投	投	投	投	投	投	議
固定資産評価員の選任	5/1	同意	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	議
副町長の選任	6/12	同意	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	議
監査委員の選任	6/12	同意	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	投	退	投	議
工事請負契約の締結 (大谷字稗田前地内外下水道災害復旧工事)	6/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
工事請負契約の締結 (大谷字上谷前地内外下水道災害復旧工事)	6/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
工事請負契約の締結 (字新東地内外下水道災害復旧工事)	6/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	議
工事請負契約の締結 (字新青川地内外下水道災害復旧工事)	6/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成25年度一般会計補正予算(第1号)	6/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成25年度公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	6/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議
平成25年度水道事業特別会計補正予算(第1号)	6/12	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議

《表決の区分》 投:投票 ○:賛成 ×:反対 退:退席、除斥 欠:欠席 議:議長なので表決に加わらず

政務調査費はこのように使われました。

政務調査費は、議員の調査研究に必要な経費の一部として、議員1人当たり月額5,000円を会派に交付しています。(※平成25年度から名称が「政務活動費」に変わりました。)

平成24年度政務調査費支出状況

(単位:円)

会 派 名	議 員 名	支出総額	収 支 内 訳		返 還 額
			町からの交付額	会派負担額	
新 政 会	堀江 一男 枅 和也 佐々木守伸 岡崎 隆	244,211	240,000	4,211	0
日本共産党	万波 孝子 松井 美子	87,653	120,000	0	32,347
清 清 会	佐藤 貴久 平間 孝士 佐藤 巖 山崎 剛	258,456	240,000	18,456	0
青 葉 会	安藤 征夫 秋山 昇 庄司 充 丸山 勝利 半澤 敏美	305,760	300,000	5,760	0
合 計		896,080	900,000	28,427	32,347

《政務調査費支出の内訳》

調査研究費(視察研修費用)／資料購入費(図書等購入費用)／広報広聴費(新聞等の発行費用)

《調査視察研修の主な内容》

新政会：三重県・津市「開かれた議会づくり」「防災対策」

青葉会：松本市・いわき市外「子育て支援」「震災復興」「食肉利用及び放射能対策」

清清会：高浜市・日進市外「常設型住民投票条例」「図書館スポンサー事業」

研修レポート

～議会活動をよりわかりやすく
身近なものに～

議会広報編集 特別委員会

より良い紙面づくり
を目指して

7月2日に議会広報編集特別委員会委員で岩手県紫波町議会へ研修に行ってきました。紫波町の議会だよりは「議会広報全国コンクール」において何度も入賞している町です。研修では、お互いの議会だよりを参考にしながらより良い紙面づくりについて意見交換を行うとともに、わが町の議会だよりも高い評価をいただきました。今後も町民の皆様に議会の活動内容をより詳しく、わかりやすくお伝えできるように努めてまいります。

※「議会広報全国コンクール」議会だよりが住民と議会との意思疎通を図り、相互信頼を培うため重要な役割を果たしていることから、編集と紙面内容の更なる充実のため、コンクールを実施し優秀な作品を選奨しているものです。



議会運営委員会

さらなる議会改革
のために

庄内町議会は、毎年10月に議会報告会を各学区毎に開催しています。「議会報告」は「町民と語る会」に名称を改め、テーマは関心の高い話題を中心に話し合い、各議員が3班に分かれて議会活動についての報告



をするとともに、町民からは議会活動、町政に対する様々な意見、提言等が出されています。

「ナイター議会」「サンデー議会」については開催していないとのこと。開催していない理由としては、ネット（IT）中継で見ているためです。

当議会としても「議員活動」「議会活動」「地域活動」自分たちの町のために、様々な取り組みを模索・展開していきたいと思っています。

第3回定例会（6月） 一般会計主な補正予算 収入

公営住宅整備事業補助金	△7500万円
防災機能強化補助金	△2902万円
財政調整基金繰入金	1317万円
自治総合センター コミュニティ助成金	350万円
町債（借入金）	△1億3300万円
支出	
コミュニティ補助金 （桜町2区・金6区）	350万円
感染症予防対策	493万円
公共下水道事業特別会計繰出金	1013万円
公営住宅等ストック総合改善事業	△1億6600万円
大河原小学校屋内運動場安全対策・ 防災備蓄倉庫設置事業	△8706万円
中央公民館非常用 自家発電設備取替工事	774万円
金ヶ瀬公民館臨時職員賃金	47万円
公債費繰上償還	563万円

その後どうなった あの提言

議員が行う提言は、町政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から、その後の経過について追跡レポートを実施してみました。



▲生活介護「さくらの風」新築工事地鎮祭

質 問

当町の障がい者施設整備は遅れている。安心と希望の持てる居場所づくりに町として支援の手を差しのべていくべきではないか。



追跡結果

不動保育所跡地に重度の障がい者支援施設の建設が本格化している。今後も町として積極的に支援をしてまいります。

平成22年12月
平成25年3月



26年4月
完成予定



お詫びと訂正

前号（5月1日発行 第127号）3ページ重点施策中「平日夜間初期緊急（内科外科）」は「平日夜間初期救急（内科）」、12ページの松井議員の一般質問中、「ウエット方式」は「ドライ方式の」誤りでした。お詫びして訂正いたします。

こんな町に住みたいな



大河原南小
小野寺健太



大河原南小
佐藤 音羽

ぼくが住んでいる大河原町は一目千本桜で有名です。毎年開かれる桜まつりでは、大河原町だけでなく、他の県からも桜を見に来る人がいて、屋台も並び、とてもにぎわいます。ぼくも家族と行きますが、土手に続く桜の花々の美しさには、ため息が出るほどです。でも気になるのはたくさんゴミです。大きなゴミ箱にも収まりきれず、周りに散らばっているのを目にします。これではせっかくの桜の美しさも台無しです。ぼくは落ちていたゴミは拾うことを心がけ、いつまでもきれいな一目千本桜を守っていききたいです。

私の理想の町は、誰とも仲が良い町です。理由はいろいろな人と仲良くなれば、新しく知る事や学ぶ事があり、たくさんの方を知ること、これからの人生に役立つと思うからです。また、仲良くなるにはあいさつが大切だと考えます。初めて会う人とも笑顔であいさつをするだけでなんだか親しくなれるような気がします。ですから、私も普段、自分からあいさつをするように心がけています。理想の町は一人一人の心がけで実現すると思うので、誰とも仲が良い町になるように、私はこれからも笑顔であいさつをしていきます。

9月議会のお知らせ

招集日 9月4日(水)・再開日 9月10日(火)

詳細は議会事務局まで ☎53-2800

街かど

ワンショット

自動販売機にも「さくらっきー♡」

わが町の観光PRマスコット“幸運の花を咲かせる妖精”「さくらっきー♡」は十六茶のテレビCMにも採用され、全国に大河原町を発信しています。愛らしくかわいいさくらっきーは子どもたちの人気者です。写真は商工会館前に設置されているピンク色の自販機です。



是非一度ご利用してみてください。心がとっても明るくなりますよ。



議会広報編集会議

議会の改選を経て、新しい顔ぶれの議会広報編集委員会メンバーに変わりました。委員長が留任、ベテラン議員1人、他は新人議員4人全員が広報編集委員となりました。新人議員の町民に近い目線を反映できる議会だよりに進化させる絶好の機会であると感じております。

編集後記

梅雨の中休みの蒸し暑さにも負けず、新メンバーとなつて最初の編集作業を終えました。今回から後輩議員をリードするかたちでの議会だより作成となり大きな責任を背負うプレッシャーのかかる毎日でした。

新人議員は感覚も新鮮で、様々なアイデアをくれると同時に勢いがあり今回の紙面はいつもにも増して生き生きとしたものになったと感謝しております。

なにより町民の読みやすさを最優先に委員全員で2年間頑張つてまいります。

(岡崎 隆)

編集発行責任者

議長 秋山 昇

議会広報編集特別委員

委員長 岡崎 隆

副委員長 佐久間 克明

委員 万波 孝子

委員 高橋 芳男

委員 大沼 忠弘

委員 須藤 慎